

事務事業名		道路台帳整備事業		所属部	建設部	所属課	建設総務課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	公共管理G	課長名	大坂 博宣
	施策名	(12)生活道路の整備		担当者名	古瀬 秀俊	電話番号	0854-40-1061
	目的	対 A)市民(道路利用者) B)生活道路(市道)	意図	市内を安全に移動できる。		(内線)	2482
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理		予算科目	会計 014002	大事業名	道路橋梁総務管理事業
目的	対 道路利用者	意図	安全に移動できるように道路を維持管理し、情報を発信する。		中事業名	道路台帳整備事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 新規整備・改良路線、県等からの移管路線等の道路台帳整備 ①新規、変更、廃止、移管路線等、道路台帳整備を要する道路の把握。 ②道路台帳整備業務委託事業の発注。 ③納入、検査実施、委託料の支払い。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 道路法に基づく道路台帳の整備。 ・路線認定及び廃止等議決内容の反映 ・道路工事承認申請内容の反映 ・道路改良工事内容の反映 ・道路維持工事内容の反映	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 道路法に基づく道路台帳の整備。 ・路線認定及び廃止等議決内容の反映 ・道路工事承認申請内容の反映 ・道路改良工事内容の反映 ・道路維持工事内容の反映			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 台帳整備実施路線件数	件	0	37	97	50
	イ 台帳整備実施路線延長	m	0	16,273	8,814	10,000
	ウ サーバー移転	回	1	0	0	0
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	生活道路の利用者	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 人口【国勢調査(推計)】	人	39,472	39,032	38,506	38,477
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	市内の道路情報を得てもらう	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	58.0	60.0	71.9	59.0
			イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	70.8	71.0	51.7	71.0
			ウ サーバー移転	回	1	0	0	0

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
道路台帳更新業務委託料 5,691千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	172	0	5,691	5,550
	事業費計(A)	千円	172		5,691	5,550
	人件費	人	1	0	2	
	正規職員従事人数	時間	1	0	80	
	延べ業務時間	千円	4		317	
	人件費計(B)	千円	176		6,008	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
合併時は旧町ごとに道路台帳様式が異なるため、仕様内容が同一な区域毎に委託していたが、コスト削減の観点から、平成25年度の道路台帳統合事業に併せ電子化とし、平成27年度に道路台帳統合事業が完了した。	旧町ごとに道路台帳が存在するため、台帳の統一及び紙ベースから電算化に向け作業を行った。平成27年度は、道路台帳統合事業の業務に含めて(流用して)道路台帳の整備を行い、経費の削減を図った。	県市町村課、雲南市財政課より、交付税算定のための数値集計の際、旧町単位で道路台帳様式が異なっており、様式の統一が求められている。この道路台帳様式の統一に併せ、平成25年度から実施計画に基づきGIS導入を行い、平成27年度に道路台帳統合事業が完了した。

事務事業名	道路台帳整備事業	所属部	建設部	所属課	建設総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒																							
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																								
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒																							
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																								
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒																							
C 効率性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																								
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 市道の改良等の情報を道路台帳システムに反映させる事業。																							
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 ・市道管理の基となる台帳が未整備となる。 ・交付税算定根拠を失う。 ・市道の管理上、法律上の定めからも廃止できない。																							
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																								
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	(具体的な手段や類似事業名) 理由 ・統廃合、連携できる類似事業はない。																							
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																								
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・平成25年度の道路台帳統合事業に併せ電子化とし、平成27年度に道路台帳統合事業が完了し、システム化された道路台帳での更新業務。(平成28年度から本稼働)																							
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・市道において様々に展開される道路工事情報を把握する作業が必要であり、業務時間の削減はできない。																							
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？																								
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 ・受益者も不特定の道路利用者であり公平・公正である。 ・受益者負担はない。																							
評価の総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・平成25年度の道路台帳統合事業に併せ電子化とし、平成27年度に道路台帳統合事業が完了し、システム化された道路台帳での更新業務。(平成28年度から本稼働) ・市道において様々に展開される道路工事情報を把握する作業が必要であり、業務時間の削減はできない。																							
3 今後の方向性【PLAN】																										
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
<p>・平成25年度の道路台帳統合事業に併せ電子化とし、平成27年度に道路台帳統合事業が完了し、システム化された道路台帳での更新業務。(平成28年度から本稼働)</p> <p>・今後は道路管理システムにより道路台帳を更新することとなるが、適正な管理及び運営等のマニュアル作成を行い、有効活用と事務効率を図ることが重要となる。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								